

神田外語大学 留学生別科

2018 年

かもく がいよう
科目概要

ひっしゅうかもく
【必修科目】



もくじ 目次

- ◆ じっせん にほんご 実践日本語
(レベル 1, 2, 3, 4) 1~4 ページ
- ◆ インターアクション
(レベル 2, 3, 4, 5, 6) 5 ページ
- ◆ インターアクション
(レベル 7) 6 ページ
- ◆ ぶんぽう 文法
(レベル 1, 2, 3) 7 ページ
- ◆ ぶんぽうどっかい 文法読解
(レベル 4, 5, 6) 8 ページ
- ◆ どっかいさくぶん 読解作文
(レベル 2, 3) 9 ページ
- ◆ さくぶん 作文
(レベル 4, 5, 6) 10 ページ
- ◆ ごいかんじ 語彙漢字
(レベル 1, 2, 3, 4, 5, 6) 11 ページ

実践日本語 1	村上 智子	4 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月・火・木・金曜日 1 限

授業内容

このコースでは、紹介、外食、外出、学校での活動など日常生活の状況を設定し、それに必要な日本語、さらにそのような日本語を実際に使えるように必要な社会言語及び社会文化知識の獲得を目指す。

授業では、発音、聴解練習、数詞、助数詞、です・ます形、動詞辞書形、過去形、て形、形容詞、疑問文、肯定文、否定文、依頼文などを学ぶ。また、会話の開始、終了などが自然にできるようなストラテジーも学ぶ。

授業構成

1 週 4 コマの授業であり、2~3 週で一つのトピックを扱う。1 週目にそのトピックに関する社会言語、社会文化知識、設定された状況に応じた語彙、文法項目を学習する。また各場面に応じた日本語使用のためのストラテジーを学ぶ。1 週目最終日には日本語話者とのインターアクションを含んだ課題や自立的に情報収集をするための課題を出す。2 週目には、まず 1 週目に学習した項目に関するクイズ、既習内容の確認などを行い、パフォーマンス・アクティビティ (performance activity) のための活動に入る。学習項目が実際の場面で使えるようになることを目指して、日本語話者の参加を依頼し様々な活動を設定する。日本語話者との接触が増え、ここでの学習をクラス外でも応用でき、達成感が得られることで、次の学習への強い動機付けになることを目指す。

評価基準

授業参加度 20%、アクティビティへの取り組み 15%、宿題・課題 25%、クイズ 25%、テスト 15%

教材

『NIHONGO ACTIVE TALK』アスク出版 2014 年

参考書

GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I, The Japan Times 2011
A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times 1986

履修上の注意点

1. 毎回の授業には必ず出席し、学習した語彙、文型は必ず復習すること。
2. パフォーマンス・アクティビティには必ず参加すること。
3. 授業の予習、復習を必ず行うこと。
4. 教室内外で積極的に日本人との交流を図り、日本語学習に活かすこと。

実践日本語 2	櫻井 可菜	4 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月・火・木・金曜日 1限

授業内容

このコースでは、日常生活（学校で、電話、病院で、デパートや小売店での買い物など）の状況を設定し、それに必要な日本語の習得と社会言語及び社会文化知識の獲得を目指す。実際場面での日本語話者との会話に対処できるストラテジーを身につける。

授業では、助詞、接続詞、動詞の普通体と丁寧体、ない形、修飾節、比較文、伝聞などを学ぶ。また会話では、あいづちやアドバイスを求めたり、情報を確認したりするストラテジーも学ぶ。

授業構成

1週4コマの授業であり、約3週で一つのトピックを扱う。1週目にそのトピックに関する社会言語、社会文化知識、設定された状況に応じた語彙、文法項目を学習する。また各場面に応じた日本語使用のためのストラテジーを学ぶ。1週目最終日には日本人とのインターアクションを含んだ課題や自律的に情報収集をするための課題を出す。2週目には、まず1週目に学習した項目に関するクイズ、既習内容の確認などを行い、3週目にはパフォーマンス・アクティビティ（performance activity）のための活動に入る。学習項目が実際の場面で使えるようになることを目指して、日本語話者の参加を依頼し様々な活動を設定する。日本語話者との接触が増え、ここでの学習をクラス外でも応用でき、達成感が得られることで、次の学習への強い動機付けになることを目指す。

評価基準

授業参加度 20%、アクティビティへの取り組み 15%、宿題 25%、クイズ 25%、テスト 15%

教材

プリント教材

参考書

Situational Functional Japanese, Vol.1~2:Notes, Tsukuba Language Group 1992

履修上の注意点

1. 毎回の授業には必ず出席し、学習した語彙、文型は必ず復習すること。
2. パフォーマンス・アクティビティには必ず参加すること。
3. 宿題はすべて提出すること。原則として、期限を過ぎて提出された宿題は受け付けない。
4. 授業の予習、復習を必ず行うこと。
5. 教室内外で積極的に日本人との交流を図り、日本語学習に活かすこと。
6. クラスには辞書を必ず携帯すること。

実践日本語 3	高橋 亘	4 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月・火・木・金曜日 1限

授業内容

このコースでは、日常生活（友達を誘う、計画を立てる、アドバイスを求める/する、依頼する、詳しく説明する、情報を求める、印象や感想について述べる、など）の状況を設定し、それに必要な日本語の習得と社会言語及び社会文化知識の獲得を目指す。実際場面での日本語話者との会話に対処できるストラテジーを身につける。

授業では、助詞、接続詞、動詞の普通体と丁寧体、修飾節、比較文、意志形、ば形、可能形、伝聞などを学ぶ。また、会話ではあいづちや、アドバイスを求めたり、情報を確認したりするストラテジーも学ぶ。

授業構成

1週4コマの授業であり、約2週で一つのトピックを扱う。1週目にそのトピックに関する社会言語、社会文化知識、設定された状況に応じた語彙、文法項目を学習する。また、各場面に応じた日本語使用のためのストラテジーを学ぶ。2週目には、1週目に学習した項目に関するクイズ、既習内容の確認などを行い、パフォーマンス・アクティビティ（performance activity）のための活動に入る。学習項目が実際の場面で使えるようになることを目指して、日本語話者の参加を依頼し様々な活動を設定する。また、日本語話者とのインターアクションを含んだ課題や自律的に情報収集をするための課題を出す。これらの活動を通し、日本語話者との接触が増えて行き、ここでの学習をクラス外でも応用でき、達成感が得られることで、次の学習への強い動機付けになることを目指す。

評価基準

授業参加度 20%、アクティビティへの取り組み 15%、宿題 25%、クイズ 25%、テスト 15%

教材

プリント教材

参考書

A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times
A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar, The Japan Times

履修上の注意点

1. 毎回の授業には必ず出席し、学習した語彙、文型は必ず復習すること。
2. パフォーマンス・アクティビティには必ず参加すること。
3. 宿題はすべて提出すること。原則として、期限を過ぎて提出された宿題は受け付けない。
4. 授業の予習、復習を必ず行うこと。
5. 教室内外で積極的に日本人との交流を図り、日本語学習に活かすこと。
6. クラスには辞書を必ず携帯すること。

実践日本語 4	高橋 優美	4 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月・火・木・金曜日 1限

授業内容

このコースでは、さまざまな場面での日本語話者とのコミュニケーション（相談、意見交換など）と、日本社会についての学習（インタビュー、ディスカッション、発表）の場を設定し、それに必要な日本語の習得と社会言語及び社会文化知識の獲得を目指す。また、相手と状況に応じて、実際場面で日本語話者と会話ができるストラテジーを身につける。

授業構成

1 週 4 コマの授業であり、2~3 週で一つのトピックを扱う。1 週目にそのトピックに関する社会言語、社会文化知識、設定された状況に応じた語彙、文法項目を学習する。また各場面に応じた日本語使用のためのストラテジーを学ぶ。1 週目最終日には日本人とのインターアクションを含んだ課題や自律的に情報収集をするための課題を出す。2 週目には、まず 1 週目に学習した項目に関するクイズ、既習内容の確認などを行い、パフォーマンス・アクティビティ（performance activity）のための活動に入る。学習項目が実際の場面で使えるようになることを目指して、日本語話者の参加を依頼し様々な活動を設定する。日本語話者との接触が増えて行き、自然な日本語を使う経験を積む。ここでの学習をクラス外でもすぐに応用でき、達成感が得られることで、次の学習への強い動機付けになることを目指す。

評価基準

授業参加度 20%、アクティビティへの取り組み 15%、宿題 25%、クイズ 25%、テスト 15%

教材

プリント教材

参考書

(New Edition) *Donnatoki Doutsukau Nihongo Hyogen Bunkei Jiten*, ALC PRESS INC.
A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar, The Japan Times

履修上の注意点

1. パフォーマンス・アクティビティには必ず参加すること。
2. 教室での活動に積極的に参加することが求められる。

【インターアクションプログラム】

インターアクション2	高橋 亘	3 単位
インターアクション3	内藤 真理子	必修科目
インターアクション4	松尾 章	春学期・秋学期開講
インターアクション5	瀬戸 彩子	月・火・金曜日 2 限
インターアクション6	村上 智子	

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などをつけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースである。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促すアクティビティ（パフォーマンス・アクティビティ/PA）も取り入れる。

評価基準

授業参加度 20%

パフォーマンス・アクティビティ（PA） 40%

課題 40%

教科書

プリント教材

参考書

授業中、適宜案内する

履修上の注意点

1. 授業での使用言語
基本的に日本語だけで行う。
2. 授業態度
受け身的ではなく、アクティビティへの自主的かつ積極的な参加が期待される。
3. 課題の提出期限
提出期限を守る。遅れた場合は減点の対象となる。

【インターアクションプログラム】

インターアクション7	北川 幸子	2 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		火曜日 1 限・木曜日 3 限

授業概要

インターアクションは学習者が遭遇するであろう日本語話者との接触場面で必要とされる、「言語能力」、「社会言語能力」、「社会文化能力」などをつけ、場面に適した日本語の運用ができるようになることを目指したコースである。授業では、日本語を使ったインターアクションのための「理解」、「準備」と「練習」に加え、「実際使用」を促すアクティビティも取り入れる。

評価基準

授業参加度 20%

アクティビティ 40%

課題 40%

教科書

プリント教材

履修上の注意点

1. 課題の提出期限

提出期限を守ること。遅れた場合は減点の対象となる。

【インターアクションプログラム】

文法 1 文法 2 文法 3	北川 幸子 眞鍋 雅子 小林 久美子	3 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		文法 1：月・火・金曜日 2 限 文法 2：月・火・金曜日 1 限 文法 3：月・火・金曜日 1 限

授業概要

文法では、教科書を使って体系的に文型を学習し、インターアクションに必要な「言語能力」の習得を目指す。

文法の知識だけでなく、運用能力も伸ばすことを目的とする。

評価基準

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト 30%

教科書

文法 1：『大学の日本語 初級 ともだち Vol.1』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
 文法 2：『初級日本語 新装改訂版 上』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社
 文法 3：『初級日本語 新装改訂版 下』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

参考書

『A Dictionary of Basic Japanese Grammar 日本語基本文法辞典』 The Japan Times

その他、授業中適宜案内する

履修上の注意点

1. 授業での使用言語
基本的に日本語だけで行う。
2. 参考書、辞書の使用
文法の参考書、辞書を使用して、自分で調べる習慣をつける。
3. 課題の提出期限
提出期限を守る。遅れた場合は減点の対象となる。

文法読解 4 文法読解 5 文法読解 6	瀬戸 彩子 内藤 真理子 松尾 章	3 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		月・火・金曜日 1 限

授業概要

文法読解では、日本語の文型や文法、表現を、教科書を使って体系的に学習する。具体的には、既習の語彙や文型、表現を確実に使えるようになるとともに、教科書の中に出てくる新しい語彙や文型、表現を理解し、会話や作文で使用できるようになることを目指す。また、教科書の読み物の読解を通して、日本社会の文化や思想、習慣、歴史などについての理解も深める。

評価基準

授業参加度 20%

クイズ 30%

課題 20%

定期テスト 30%

教科書

文法読解 4 : 『中級日本語 新装改訂版 上』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

文法読解 5 : 『中級日本語 新装改訂版 下』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

文法読解 6 : 『上級日本語』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著 凡人社

履修上の注意点

1. 授業での使用言語

基本的に日本語だけで行う。

2. 参考書、辞書の使用

文法の参考書、辞書を使用して、自分で調べる習慣をつける。

3. 課題の提出期限

提出期限を守る。遅れた場合は減点の対象となる。

読解作文 2 読解作文 3	國方 滋美 西 菜穂子	1 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		木曜日 1 限

授業概要

読解作文 2、3 は、読み書きの能力を伸ばすことを目的とする。具体的には、読むこと、書くことを通じて、文型、語彙、表現の運用力を高め、適切な書きことばを身につけることを目指す。

評価基準

授業参加度 20%

課題 50%

定期テスト 30%

教科書

プリント教材

参考書

読解作文 2 : 『みんなの日本語初級第 2 版 やさしい作文』 門脇薫・西馬薫著
スリーエーネットワーク

読解作文 3 : 『初級からの日本語スピーチ』 国際交流基金関西国際センター著 凡人社

履修上の注意点

1. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

【インターアクションプログラム】

作文 4 作文 5 作文 6	釜田 友里江 細井 和代 瀬戸 彩子	1 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		木 1 限

授業概要

作文 4、5、6 は、書く能力を伸ばすことを目的とする。具体的には、既習の語彙、文型、表現を用いてまとまりのある文章を書くこと、書く目的や読み手、ジャンルに応じて文章を書き分けること、身近な話題から徐々に抽象度の高い話題について文章を書けるようになることを目指す。

評価基準

授業参加度 20%

課題 50%

最終課題 30%

教科書

プリント教材

履修上の注意点

1. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

【インターアクションプログラム】

語彙漢字 1 語彙漢字 2 語彙漢字 3 語彙漢字 4 語彙漢字 5 語彙漢字 6	櫻井 可菜 國方 滋美 内藤 真理子 北川 幸子 稲葉 和栄 細井 和代	1 単位
		必修科目
		春学期・秋学期開講
		木曜日 2 限

授業概要

語彙漢字では、語彙を増やし、言語運用能力を高める。また、漢字に関する知識を体系的に学び、漢字語彙も増やす。

評価基準

- 授業参加度 20%
- クイズ 30%
- 課題 30%
- 期末テスト 20%

教科書

- 語彙漢字 1 : 『KANJI LOOK AND LEARN』 坂野永理ほか The Japan Times
- 語彙漢字 1 : 『KANJI LOOK AND LEARN ワークブック』 The Japan Times
- 語彙漢字 1 : 『はじめての日本語能力試験 N5 単語 1000』 アスク出版
- 語彙漢字 2 : 『KANJI LOOK AND LEARN』 坂野永理ほか The Japan Times
- 語彙漢字 2 : 『KANJI LOOK AND LEARN ワークブック』 The Japan Times
- 語彙漢字 3 : 『KANJI LOOK AND LEARN』 坂野永理ほか The Japan Times
- 語彙漢字 3 : 『KANJI LOOK AND LEARN ワークブック』 The Japan Times
- 語彙漢字 4 : 『漢字・語彙が弱いあなたへ』 足立章子ほか 凡人社
- 語彙漢字 5 : 『INTERMEDIATE KANJI BOOK VOL.1 改訂第 3 版』 加納千恵子ほか 凡人社
- 語彙漢字 6 : 『上級・超級日本語学習者のための考える語彙・漢字 上級編』 八木真生著
ココ出版

履修上の注意点

1. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

2018 年度 神田外語大学留学生別科 科目概要 必修科目

2018 年 8 月発行

編集・発行 神田外語大学留学生別科

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1

電話番号 043-273-1615

無断転載を禁じます